

ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド 2017 に参加しました。

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会

松田 梓

平成29年7月28日(金),29日(土)の2日間パシフィコ横浜展示ホール D におきまして、社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団主催のもと「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2017」が開催されました。

今年で16回目の開催となるヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2017の展示テーマは「暮らし」。入浴やトイレ、家の中の移動、調理、コミュニケーションなど、毎日の暮らしのなかにあるちょっとした不便を「快適」にしていくための役に立つ活きた情報・アイデアが豊富にラインナップされました。

本会公益事業推進部では、これまでも本会の取り組みや理学療法(士)を多くの方に知ってもらうことを目的に、理学療法(士)の紹介や理学療法フェスタのリーフレット配布を行ってきました。今年はリーフレット配布に加え、車椅子乗車体験ブースのサポートも行いました。

また理学療法士は、災害が起きた際には被災された方々の生活を支援することや避難所での生活不活発病を予防する活動も行っています。災害対策委員会では「災害時に必要な備えや避難時に活用できる福祉用具」をコンセプトにした様々な展示とこれまでの委員会の取り組みを紹介しました。



展示ブースでは、理学療法(士)やリハビリテーションについてのご相談、災害時のトイレや緊急時の搬送用具の紹介、乳幼児やアレルギー児への対応マニュアルやヘルプマークについて展示しました。2日間を通して多くの問い合わせ、ご質問をいただきました。

車椅子乗車体験ブースでは、学生を中心に多くの参加者が来てくれました。車いすの構造や介助方法について知ってもらう機会となったのではと思います。

多くの方に車椅子体験や展示ブースへご参加いただきました。本当にありがとうございました。また、企画・運営にご協力いただきました社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団の方々、当日の運営を手伝っていただいたボランティアスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。

今後もリハビリテーションや理学療法(士)の普及を目的として様々な企画・運営をしていきたいと考えています。今後も皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。